

なになに？えこちるっこQ&Aコーナー

なになに？えこちるっこQ&Aコーナーは、エコチル調査にご参加いただいているお母さまや、えこちるっこたちの健康や病気に関するご質問にお答えするコーナーです。今回は小児科外来でよくあるご質問のひとつ、「アトピー性皮膚炎」についてお話ししたいと思います。

アトピー性皮膚炎は、皮膚に炎症が起こり、強いかゆみを伴う湿しんができて、よくなったり悪くなったりを繰り返す慢性疾患です。

アトピー性皮膚炎がある場合、遺伝的な体質（アトピー素因）によって、皮膚のバリア膜が弱くなっているため、汗やほこりなどのさまざまな刺激物が入りやすくなっています。そのため炎症が起こり、湿しんができて強いかゆみが生じるのです。

アトピー性皮膚炎の治療は、「スキンケア」「薬物療法」「悪化因子の除去」が3つの柱です。まず、入浴で皮膚を清潔に保ち、保湿用外用薬を使って皮膚の乾燥を防ぎます。炎症や湿しんがあるところには、ステロイド外用薬などを使用します。また、アトピー性皮膚炎は「ストレス」「気温」「湿度」「体調不良」「発汗」「衣服」「化粧品」「食べ物」などさまざまな要因によって

悪化することがあるため、取り除くことができる悪化因子はできる限り取り除くことも大切です。

アトピー性皮膚炎が起こる「体質」そのものは、残念ながら完全には変えることはできません。

「完治」を目指すのではなく、「標準治療で症状を抑え、アトピー性皮膚炎のない人と同じように社会生活を送る」ことを目指し、“病気とうまくつきあっていく”という姿勢が大切です。標準的な治療を行っていても、さまざまな要因によって症状が悪くなることがあります。そのような場合にも自己判断で薬の使用を中止したりせず、皮膚科専門医に相談したり、スキンケアの方法を見直すなど症状の改善を図りましょう。



なになに？えこちるっこコーナーでは、皆さまからの健康や病気に関するご質問にお答えしています。**エコチル番号を必ずご記入の上、下記住所まで郵送またはFAXにてお送りください。**（紙面の都合上、すべてのご質問にお答えできない場合がございますので、ご了承くださいませ。）

お知らせコーナー —エコチルバスが走っています！！—

この10月から、エコチル調査のラッピングを施した西鉄バス2台が福岡市東区～中央区の間を走り始めました。調査対象地区の東区だけでなく天神地区も走りますので、きっとたくさんの方に目にいただけると思います。

（香椎線23番、多々良線77・78・79番）

すでに調査にご参加いただいているみなさまには引き続き調査へのご協力をお願いし、またエコチル調査のことをまだご存知ない多くの方に、少しでもこの調査のことを知っていただき、調査にご参加いただきたいと思っています。

目にした人がふと笑顔になれるような優しい雰囲気、毎日元気に走っています。ぜひ見つけてみてください！！



質問票は6か月ごとにお送りしております。

遅くなくても構いません、お手元にまだご回答いただけていない質問票をお持ちでしたら、ぜひご記入の上、ご返送をお願いいたします。

また、質問票を紛失・破損された場合でも、お気軽に事務局までご連絡ください。すぐに新しい質問票をお送りいたします。

引き続きエコチル調査へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



■発行

九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1
九州大学
コラボステーションⅡ701

電話・FAX (092) 642-6453

ホームページ:
<http://eco.kyushu-u.ac.jp/>